

- 問1 火力発電と再生可能エネルギーの発電コストを比較した場合、太陽光や風力などの再生可能エネルギーにおける経済的な特徴として正しいものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 発電のための燃料費はかからないが、発電のための設備投資に多額の費用を要する。 | 2. 発電設備を維持するための運転維持費が、火力発電の燃料費よりも高額になる。 | 3. 石炭や天然ガスなどの燃料を安く調達できるため、火力発電よりも設備費が抑えられる。 | 4. 二酸化炭素の排出抑制にかかる対策費が、燃料費や設備費を上回る最大の負担となっている。 |
|---|---|---|---|
- 問2 海洋プラスチックごみが地球規模の環境問題となっている背景とその対策について、適切な説明を述べているものはどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. プラスチックは海水中ですぐに自然分解されるため、生態系への影響を最小限に抑えるには、特定の海域に投棄を限定することが対策となる | 2. プラスチックは自然分解されるまでに膨大な時間を要するため、レジ袋の削減やマイボトルの使用など、プラスチックごみを減らす行動が求められている | 3. 海洋プラスチックごみは海流に乗らず特定の場所に留まる性質があるため、流出源となった国々が清掃活動を行うだけで解決できる | 4. 2050年にはプラスチックが自然に消滅すると予測されているため、現在は使い捨て製品の利便性を優先し、特別な対策を講じる必要はない |
|--|--|--|---|
- 問3 かつての大量生産・大量消費・大量廃棄を中心とした社会から「循環型社会」への転換が求められている背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 都市部への人口集中を解消し、地方において自給自足の生活を営む人々を増やすため。 | 2. 情報通信技術の発達により、実体のある製品を介さずに経済活動を行うことが可能になったため。 | 3. 所得の格差を是正し、すべての国民が均等に新しい製品を購入できる権利を保障するため。 | 4. 限られた地球の資源を有効に活用し、将来の世代にわたって持続可能な生活環境を維持するため。 |
|--|---|--|---|
- 問4 持続可能な社会の実現に向けた観光のあり方として、エコツーリズムが注目されている理由や目的として最も適切なものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 大規模なリゾート開発や宿泊施設の建設を行い、短期間に多くの観光客を誘致することで、地域の経済的な利益を最大化させるため。 | 2. 都市部の人々が農村に滞在し、農作業や林業などの体験を通じて、自然環境よりも農業の生産性向上や振興を第一の目的とするため。 | 3. 高齢者や障害のある人々が安全に観光を楽しめるよう、自然環境を作り替えて道路の舗装や段差の解消といった物理的な障壁を取り除くため | 4. 地域の自然環境や文化を資源として活用し、その価値を損なわない範囲で観光客を受け入れることで、環境の保全と地域の活性化を両立させるため。 |
|---|---|--|--|
- 問5 国際社会が地球温暖化対策を進める際、「締約国会議（COP）」が果たしている役割と仕組みについての説明として、最も適しているものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 国連の専門機関が、温暖化の影響を受けた地域に対して直接的な自然災害の復興支援を単独で行う | 2. 一部の先進国のみが集まり、発展途上国に対して環境保護のための経済制裁を課す方針を決定する | 3. 気候変動枠組条約に基づき、条約を結んだ全ての国が参加して排出削減などの指針を協議・決定する | 4. 民間企業が主体となって、世界中の工場に対して二酸化炭素の排出量を強制的に割り当てる |
|---|---|--|--|
- 問6 近年の都市開発では、路面電車の車両の床面を非常に低く設計し、停留所のホームとの段差を最小限に抑えたシステムが注目されています。このような仕組みを導入する主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 路面電車の停留所を削減し、自動車の走行速度を向上させるため | 2. 高齢者や障がい者が、介助なしでも円滑に乗り降りできるようにするため | 3. 車両を軽量化することで、従来の鉄道よりも高速な移動を可能にするため | 4. 最新の自動運転技術を導入し、運転士不足を解消するため |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|
- 問7 あるコーヒー店での聞き取り調査において、「当店では発展途上国で生産され、特定の認証を受けたコーヒー豆を積極的に取り扱っています」という回答がありました。このような取り組みが行われる背景にある、国際協力の考え方として最も適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 発展途上国の製品をできるだけ安く買い取り、日本の消費者の利益を最大化する。 | 2. 日本の優れた工業製品を現地へ輸出し、発展途上国の市場を独占する。 | 3. 発展途上国へ食糧や医薬品を無償で提供し、一時的な飢餓や病気を防ぐ。 | 4. 現地の生産者に対して適正な対価を支払い、継続的な取引を通じて生活の安定を図る。 |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問8 発展途上国の経済発展や福祉の向上のために、政府や政府関係機関が行う公的な資金や技術による協力活動を何といいますか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|---------------|-------------------|----------------|
| 1. 世界保健機関（WHO） | 2. 非政府組織（NGO） | 3. 国連児童基金（UNICEF） | 4. 政府開発援助（ODA） |
|----------------|---------------|-------------------|----------------|
- 問9 持続可能な社会の実現に向けて導入が進められている太陽光発電の利点について、各発電方式の特性を比較した説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大規模な土地が必要ないため場所を選ばず設置でき、廃棄物の処理による環境負荷も全く発生しない。 | 2. 光エネルギーを利用するため資源が枯渇するおそれがなく、発電の過程において二酸化炭素を排出しない。 | 3. 天候や時間帯に左右されず安定した電力供給が可能であり、他の発電方式に比べて発電コストが極めて低い。 | 4. 化石燃料を燃焼させてタービンを回すため、エネルギー効率が他の再生可能エネルギーよりも非常に高い。 |
|---|---|--|---|
- 問10 国際社会における「貧困と教育」の課題について、低所得国で見られる状況とその背景を説明した文として最も適切なものを選択してください。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 低所得国では高度な専門知識を持つ人材が余っているため、基礎教育である小学校の卒業率は意図的に低く抑えられている。 | 2. 低所得国では人口が減少しているため、学校に通う子どもの数自体が減り、その結果として小学校の卒業率が統計上低くなっている。 | 3. 貧困によって教育環境の整備が遅れるだけでなく、子どもが貴重な働き手とされるため、小学校を卒業する前に退学せざるを得ない状況がある。 | 4. 経済的に困難な状況にある国ほど、小学校よりも大学などの高等教育に予算を集中させているため、初等教育の卒業率が低下している。 |
|---|---|--|--|
- 問11 海洋プラスチックごみ問題において、製品ごとの「自然分解に要する期間」の違いを理解することは重要です。一般的な調査結果に基づいた記述として、適切なものを選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. プラスチック製品は金属製のごみよりも早く分解されるため、環境負荷は比較的低いと考えられている。 | 2. レジ袋はプラスチックの中でも分解が早く、新聞紙などの紙ごみと同じく約6週間ですぐに自然に還る。 | 3. 新聞紙が約6週間で分解されるのに対し、ペットボトルは分解されるまでに400年から450年程度の時間を要する。 | 4. 海洋に漂着するごみのうちプラスチックが占める割合は1割程度と低いいため、分解期間の長さは大きな問題ではない。 |
|--|--|---|---|